

## Work With パターンのグリッドの変数とアクション

GeneXus™

## Web パネルにおける Load イベント

The screenshot displays the GeneXus IDE interface for a web application. The left pane shows the design view of a web panel titled 'WWAttractionsScratch'. It includes a 'MainTable' with a 'Grid1' containing a table with columns: '観光名所番号' (AttractionId), '観光名所名' (AttractionName), '国名' (CountryName), '観光名所写真' (AttractionImage), '旅行数' (Trips), and '新規旅行' (NewTrip). The table is populated with data from a 'Trips' table. The right pane shows the 'Events' tab with the following code:

```

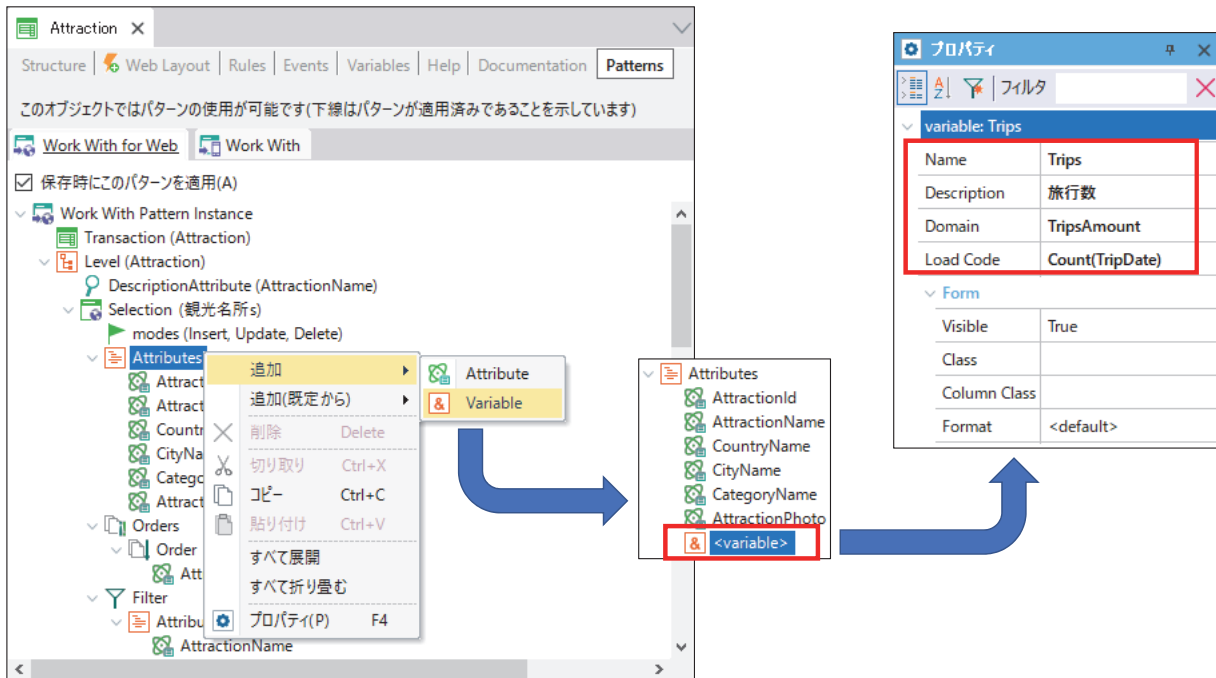
1 Event Load
2   &Trips = Count(TripDate)
3   &TotalTrips = &TotalTrips + &Trips
4 Endevent
5
6 Event Refresh
7   &TotalTrips = 0
8 Endevent
9
10 Event Start
11   &UpdateImage.FromImage(edit)
12   &NewTrip = "新規旅行"
13 Endevent
14
15 Event &UpdateImage.Click
16   Attraction(TrnMode.Update, AttractionId)
17 Endevent
18
19 Event &NewTrip.Click
20   &Trips = InsertTrip(AttractionId)
21   Refresh
22 Endevent
23

```

ここまで、Web パネルを手動で実装する中で、グリッドコントロールに配置された変数に対し、Load イベントで値を代入する実装方法について説明を行いました。

では、Work With for Web パターンを適用した結果、実装された一覧画面で同様の実装方法について説明します。

## Work With for Web パターン : 変数の追加



トランザクションオブジェクトの [Patterns] エレメントより、Work With for Web パターンのパターンインスタンスは、カスタマイズすることができます。パターンによって生成される一覧画面は、このツリー構造内の「Selection」から始まるノード（以降、「[Selection] ノード」と記載）内の定義によって生成されました。一覧表示するグリッドに含まれる列は、この中の [Attributes] ノードに基づくため、このノードに対し、右クリックメニューより [追加] をフォーカスし、[Variable] をクリックします。新たなノードが追加されるため、次のプロパティを設定することで、実装が完了します。

[Name] プロパティ :  
変数の名前を指定します。

[Description] プロパティ :  
列のタイトルとして表示される文字列を指定します。

[Domain] プロパティ :  
パターンで追加する変数のデータタイプは、ドメインに基づく必要があります。そのため、このプロパティで、定義済みのドメインを指定します。

[Load Code] プロパティ :  
画面表示時に、変数に割り当てる値を指定します。  
このプロパティに指定された内容が、生成されるオブジェクトの Load イベントに追加されます。

## Work With for Web パターン : 自動生成結果の確認

The screenshot displays the GeneXus Work With for Web interface. On the left, the 'PrepareTransaction' event is selected, showing a list of events and their associated code. A red box highlights the 'Event Grid.Load' section, which contains the following code:

```

17 Event ブロック ('Toggle')
29 Event ブロック (CountryNameFilterContaine
38
39 Event ブロック (Refresh)
49
50 Event Grid.Load
51   &Update.Link = Attraction.Link(T
52   &Delete.Link = Attraction.Link(T
53   AttractionName.Link = ViewAttrac
54   CountryName.Link = ViewCountry.L
55
56   // Load variable '&Trips'
57   &Trips = (Count(TripDate))
58 EndEvent
59
60 Event 'DoInsert'
61   Attraction(TrnMode.Insert, nullval
62 EndEvent
63
64 Sub 'PrepareTransaction'
65   &TrnContext = new()

```

On the right, a table titled '観光名所s' (Tourist Attractions) is displayed. The table has columns for '観光名所番号' (Attraction Number), '観光名所名' (Attraction Name), '国名' (Country), '都市名' (City), 'カテゴリ名' (Category), '観光名所写真' (Attraction Photo), and '旅行数' (Number of Trips). The table lists 10 attractions, including the Eiffel Tower, Sagrada Família, Smithsonian Museum, and others.

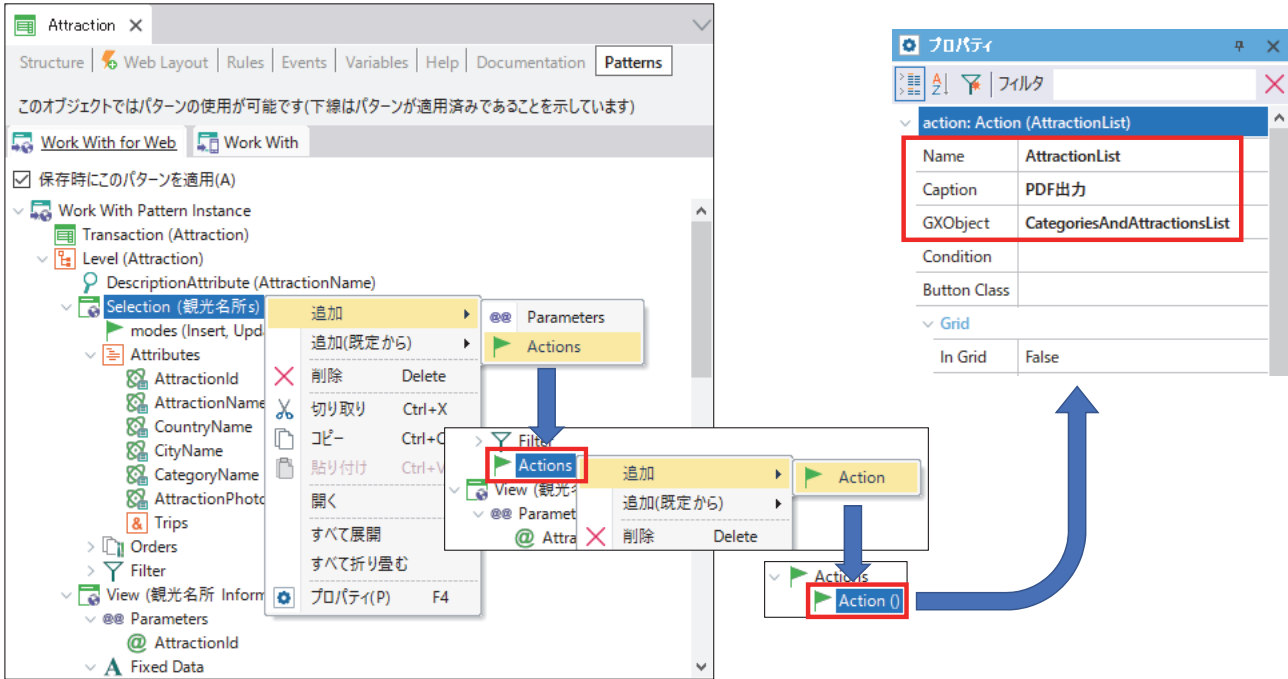
観光名所番号	観光名所名	国名	都市名	カテゴリ名	観光名所写真	旅行数
16	エッフェル塔	フランス	パリ	有名なランドマーク		2
17	サグラダ・ファミリア	スペイン	バルセロナ	モニュメント		1
18	スミソニアン博物館	アメリカ	ワシントンD.C.	ミュージアム		0
20	ノートルダム寺院	フランス	パリ	有名なランドマーク		2
19	マティス美術館	フランス	ニース	ミュージアム		1
15	ルーブル美術館	フランス	パリ	ミュージアム		3
22	紫禁城	中国	北京	遺跡		2
21	万里の長城	中国	北京	遺跡		3

パターンインスタンスの変更を保存すると、パターンによる自動生成オブジェクトが更新されます。

[Events] エLEMENTの Load イベント (Grid.Load) を確認すると、[Load Code] プロパティに記述された値を代入するコードが記述されていることが確認できます。

実行したアプリケーションでもこの実装に基づき、変数の表示および値の格納が確認できます。

## Work With for Web パターン : アクションの追加



Web パネルのように追加で、任意のアクションを含めることもできます。  
本コースでは、特定のオブジェクトを呼び出すアクションを例に説明します。

アクションを追加したい場合、初めに、「Selection」から始まるノードにアクションを追加できる子ノードを追加する必要があります。  
そのため、[Selection] ノードに対し、右クリックメニューより [追加] をフォーカスし、[Actions] をクリックします。  
続いて、追加される [Actions] ノードに対し、右クリックメニューより [追加] をフォーカスし、[Action] をクリックします。  
新たなノードが追加されるため、次のプロパティを設定することで、実装が完了します。

### [Name] プロパティ :

アクションの名前を指定します。

指定した文字列の頭に「Do」が追加され、イベント名として利用されます。

### [Caption] プロパティ :

生成された画面で、アクションに対するコントロールに表示される文字列を指定します。

### [GXObject] プロパティ :

アクションを実行した場合に、呼び出すオブジェクトを選択します。

その他のプロパティを変更することで、アクションをグリッド内に含めるかどうか、ボタンではなく、画像のクリックとして追加するかなどカスタマイズを行うことができます。

## Work With for Web パターン : アクションの実装結果

The screenshot displays the GeneXus IDE interface. On the left, the 'Events' panel shows a list of events for the '観光名所s' pattern. The event 'DoAttractionList' is highlighted with a red box, showing its implementation:

```

29 Event ブロック (CountryNameFilterConte
38
39 Event ブロック (Refresh)
49
50 Event ブロック (Grid.Load)
59
60 Event ブロック ('DoInsert')
63
64 Event 'DoAttractionList'
65     CategoriesAndAttractionsList()
66 EndEvent
67

```

On the right, the '観光名所s' pattern is displayed. It includes a search bar and a 'PDF出力' button, both highlighted with red boxes. Below the search bar is a table of attractions:

観光名所番号	観光名所名	国名	都市名	カテゴリ名	観光名所写真	旅行数
16	<a href="#">エッフェル塔</a>	<a href="#">フランス</a>	パリ	有名なランドマーク		2 更新 削除
17	<a href="#">サグラダ・ファミリア</a>	<a href="#">スペイン</a>	バルセロナ	モニュメント		1 更新 削除
18	<a href="#">スミソニアン博物館</a>	<a href="#">アメリカ</a>	ワシントンD.C.	ミュージアム		0 更新 削除
20	<a href="#">ノートルダム寺院</a>	<a href="#">フランス</a>	パリ	有名なランドマーク		2 更新 削除
19	<a href="#">マティス美術館</a>	<a href="#">フランス</a>	ニース	ミュージアム		1 更新 削除
15	<a href="#">ルーブル美術館</a>	<a href="#">フランス</a>	パリ	ミュージアム		3 更新 削除
22	<a href="#">紫禁城</a>	<a href="#">中国</a>	北京	遺跡		2 更新 削除
21	<a href="#">万里の長城</a>	<a href="#">中国</a>	北京	遺跡		3 更新 削除

パターンインスタンスの変更を保存すると、パターンによる自動生成オブジェクトが更新されます。

[Web Layout] エレメントのアクショングループに、追加したアクションに基づくボタンコントロールが追加され、このボタンをクリック時のイベントが [Events] エレメントに記述されていることが確認できます。

実行したアプリケーションでもこの実装に基づき、ボタンの表示およびオブジェクトの呼び出しが確認できます。

*GeneXus*<sup>™</sup>